

大型鶏舎等の状況について

【かすみがうら農場について】

1 概要

- ①会社名 株式会社 かすみがうら農場
- ②所在地 かすみがうら市新治1786-1
- ③敷地面積 123,000㎡
- ④主な建築物 鶏舎×12棟
集卵場×1棟
コンポスト棟×1棟
浄化槽×1基
倉庫×2棟
- ⑤鶏舎仕様 鶏舎形式：直列6段（12列）
鶏舎数：12鶏舎（1棟1室100,000羽）
収容羽数：1,200,000羽
換気扇台数：112台（1室）
排気ミスト設置（除塵、脱臭）

2 農場コンセプト（説明資料より抜粋）

- ①インテグレーションによる徹底した品質管理
種鶏、孵化、育雛、育成、成鶏、製造、出荷が一貫で管理されたシステム。
- ②安心・安全な卵を供給する衛生管理
産卵する鶏は親鶏までトレースが可能。雛の段階から一切抗生物質をつかうことなく育てられます。
- ③環境配慮型生産体制
鶏糞を併設の密閉型発酵処理機により、発酵処理し鶏糞をペレット化して出

荷。臭気を集約し脱臭装置で処理。

3 鶏糞処理方法

- ①形式 ・密閉型縦型コンポスト（発酵装置） 12基
 - ・臭気を集約し脱臭するシステム
 - ⇒水洗スクラバー、チップ脱臭装置、ケミカル脱臭
- ②その他 ・鶏糞については外気に触れることなくコンポストまで自動搬送
- ・発酵糞尿をペレット化（3,600袋／日）

4 排水処理方法

- ①対象排水 鶏舎洗浄、ダストシャワー、汚卵洗浄、脱臭スクラバー排水
- ②計画排水量 250t／日
- ③方式 膜分離活性汚泥方式による排水処理

5 建設並びに稼働状況

- ・平成29年12月 建設開始
- ・平成30年6月20日 完成鶏舎より鶏の投入を開始。
- ・令和元年11月 全12鶏舎完成
- ・令和2年1月 120万羽飼育開始

6 その後の経過等

令和元年8月6日	かすみがうら市議会文教厚生委員会視察研修
令和元年8月26日	<p>市内住民から臭気が漏れているのではないかと苦情が寄せられた。</p> <p>(株)かすみがうら農場では、その後、臭気の吸着材であるチップの効果を高めるため、チップ槽内の攪拌やチップ自体の入れ替えを実施することで改善対応した。</p>
<p>(令和元年8月30日：県南県民センターからの連絡概要)</p>	<p>6/28石岡市の三村地区環境保全協議会から、「排水路の簡易水質測定を行った結果、アンモニア性窒素が高い濃度で検出された」と県南農林事務所に連絡があり、その後、県南県民センター（環境保安課）などで、7/4～8/6の期間に水質調査を複数回実施。</p> <p>調査の結果、同排水路で高濃度の全窒素71～100mg/L（アンモニア性窒素：54～82mg/L）が検出され、また、排水路の上流にある同農場の放流水で全窒素670～1,000mg/L（アンモニア性窒素：560～920mg/L）が検出されたことから、同農場の放流水が原因であると判断された。</p> <p>同農場では、7/8以降、高濃度のアンモニア性窒素について、スクラバーの水使用量調整や放流水に地下水を加えるなど、基準値以下にまで数値をさげてから放流する取り組みを開始。</p>
令和元年9月19日～	<p>上記の調査結果では、窒素、りん、生物化学的酸素要求量（BOD）の基準値超過が確認されたため、県南県民センターより同農場に対して水質改善にかかる勧告がなされた。</p> <p>同農場においては引き続きの改善（窒素やBOD対策として浄化槽のメタノール使用量の調整や微生物の追</p>

	<p>加、リン対策として吸収剤の追加など）が進められるとともに、県南県民センターの再調査等も継続され、12/18の水質調査では窒素とリンが基準値内の数値と確認された。</p> <p>その後も、県南県民センターでは、同農場から毎週水質検査結果の報告を受けるなど動向を監視しつつ、必要に応じて改善指導等を行っている。</p>
--	--

7 現在の状況について

- 同農場では、臭気測定場所について、これまでの測定箇所（角来公民館付近個人宅・稲吉東4丁目個人宅・シティーナ神立敷地内・稲吉二丁目・かすみがうら農場内2箇所）に新たに令和2年3月末からわかぐり運動公園を加え、7か所で臭気測定器を設置し毎日アンモニア濃度の測定を24時間実施。測定結果について市では毎月報告を受けているが、市内で環境基準値1ppm（市街化区域外2ppm）を超過したことはない。
- また、同農場では、夏場、気温上昇に伴い鶏舎の換気扇稼働率を上げる必要があり、同時に発生する臭気への対策として消臭剤の噴霧を行っているが、通常消臭剤噴霧の時間では夜間気温が下がった際に出現する臭気に対する効果が不十分と目された（苦情が寄せられることがあった）ため、消臭剤の噴霧時間を早めるなどの対処をした。

8 臭気測定結果

次のとおり。

【イセファーム（株）田伏農場について】

1 概要

- ①会社名 イセファーム株式会社 田伏農場
- ②所在地 かすみがうら市田伏4560
- ③敷地面積 18,447㎡
- ④主な建築物 豚舎×10棟（現在9棟稼動）
リキットシステム管理棟×1棟
事務所×1棟
浄化槽×1基
倉庫×1棟
コンポスト棟×1棟
- ⑤豚舎仕様 豚舎数：10棟（1棟300頭）
収容豚数：3,000頭
換気扇台数：10台（1室）
排気ミスト設置（除塵、脱臭）

2 稼動状況

平成15年11月10日より稼動開始

3 現在の状況（臭気の苦情など）

令和元年7月4日	市農林水産課へ「田伏農場の事業場から用水路に排水されている水が糞尿臭いので確認、指導してほしい」と通報があり、農林水産課及び生活環境課で現地訪問し、用水路において糞尿と思われる汚水を確認。
7月23日	通報者からは、大雨時に黒い水が用水路に流入するとの話であったため、降雨が予想される日として、県南県民センター（環境保安課）・県南農林事務所（農業振興課）・市農林水産課及び生活環境課で立入調査を

	実施。降雨後 1 時間程度で黒い排水が用水路に流入することを確認し、同農場に対してまずは流入原因を確認するよう打診した。
7 月 2 4 日	同農場から市農林水産課に連絡があり、「豚舎のし尿はし尿用側溝からバキューム車での汲み取り処理をしているのだが、し尿用側溝が雨水排水路にも繋がっており、降雨時などにし尿がそちらの排水路へ流れていたことが判明したので、早急にそこを遮断する工事をする。」旨の回答を受けた。
8 月 2 6 日 ～ 9 月 1 2 日	同農場で、し尿用側溝と雨水排水路を遮断する工事を実施。
1 0 月 4 日	市農林水産課及び生活環境課にて現地訪問し、し尿用側溝と雨水排水路が遮断されていることを確認。 <ul style="list-style-type: none"> ・し尿用側溝に繋がっていたU字溝の排水溝を封鎖。 ・新たに汚水処理の設備（4つの浄化施設など）を設置し、汚水を水で薄めたのち、オゾン処理やエアレーションを行い、蒸発散層に送水される。

4 臭気測定結果

次のとおり。